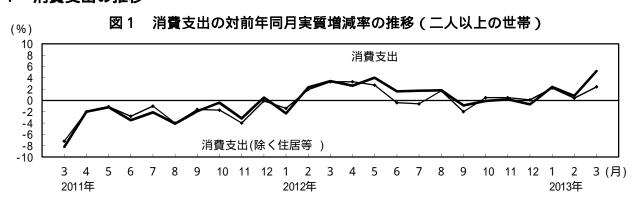
平成25年(2013年)3月の結果 (二人以上の世帯)

二人以上の世帯 消費支出は,1世帯当たり 316,166 円 前年同月比 実質 5.2%の増加 前月比(季節調整値) 実質 2.0%の増加 名目 4.1%の増加 消費支出(除く住居等)は, 実質 2.4%の増加 前月比(季節調整値) 実質 0.3%の減少 前年同月比 名目 1.4%の増加 うち勤労者世帯の実収入は、 うち勤労者世帯の消費支出は, 実質 1.8%の増加 前年同月比 前年同月比 実質 7.6%の増加 名目 0.8%の増加 名目 6.5%の増加

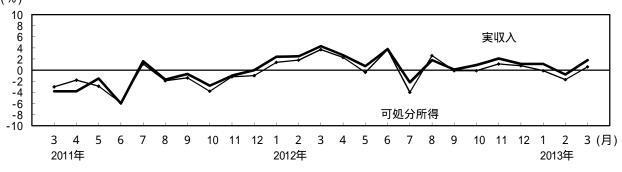
1 消費支出の推移



	2012年						2013年						
	3 月	4 月	5 月	6 月	7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月
消費支出	3.4	2.6	4.0	1.6	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7	2.4	0.8	5.2
消費支出(除〈住居等)	3.3	3.3	2.7	-0.4	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1	2.2	0.4	2.4

2 勤労者世帯の収入の推移

/ 04)図 2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2012年										2013年		
	3 月	4 月	5 月	6 月	7月	8 月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月
実 収 入	4.3	2.7	0.7	3.8	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1	1.1	-0.8	1.8
可処分所得	3.7	2.3	-0.4	3.7	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8	-0.1	-1.7	0.6
消費支出	4.3	3.8	0.9	2.5	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2	4.1	2.7	7.6
平均消費性向	0.5	1.3	1.3	-0.6	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7	3.6	3.3	6.3

^{*:}対前年同月ポイント差

^{:「}住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳(2013年3月-二人以上の世帯)

項目	金額(円)	対前年同月] 増減率(%) 実 質	実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘要	備考
消費支出	316, 166	4. 1	5. 2	5. 2		3か月連続の実質増加
食料	69, 388	1.9	4. 4	0. 98	〈増加〉野菜・海藻, 外食など	2か月ぶりの実質増加
住居	18, 472	23. 3	23. 7	1. 17	〈増 加〉設備修繕·維持	8か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	27, 561	-2.1	-4. 3	-0.40	〈減少〉他の光熱,電気代など	2か月連続の実質減少
家具・家事用品	9, 085	-6. 9	-3. 7	-0. 12	〈減 少〉室内装備・装飾品,家庭用耐久財など	2か月連続の実質減少
被服及び履物	13, 271	9. 1	9. 3	0. 37	〈増 加〉 洋服, シャツ・セーター類など	2か月連続の実質増加
保健医療	13, 812	1.6	2.0	0.09	〈増加〉保健医療用品・器具, 医薬品	2か月ぶりの実質増加
交通・通信	49, 184	11.6	11.8	1. 72	〈増加〉自動車等関係費,通信など	14か月連続の実質増加
教育	13, 243	-7.2	-7.6	-0.35	〈減少〉授業料等,補習教育	3か月ぶりの実質減少
教 養 娯 楽	29, 934	0.2	3.0	0.30	〈増加〉教養娯楽用品, 教養娯楽サービス	3か月連続の実質増加
その他の消費支出	72, 216	4.8	(5.9)	(1. 34)	〈増加〉仕送り金,諸雑費など	2か月ぶりの増加

注1 「摘要」欄は,消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし,「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

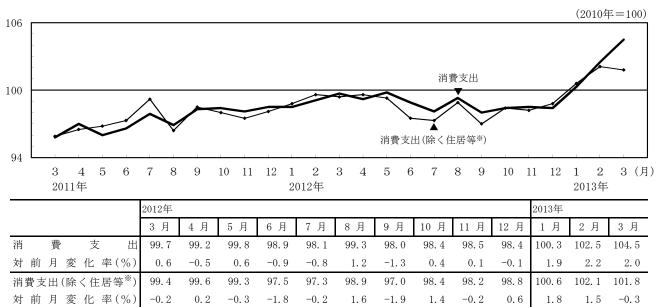
中 分 類 品 目

<増加項目>	実質寄与度		
設備修繕·維持	[1. 60]		外壁·塀等工事費,設備器具
自動車等関係費	[1. 48]		自動車購入,自動車等部品
諸雑費	[0. 57]		葬儀関係費,非貯蓄型保険料
教養娯楽用品	[0. 26]		スポーツ用品,動物病院代
野菜·海藻	[0. 24]		レタス,きゅうり
洋服	[0. 20]		男子用学校制服,子供服
外食	[0. 19]		洋食,すし(外食)
<減少項目>			
家賃地代	[-0. 43]	••••	公営家賃,民営家賃
授業料等	[-0. 28]		専修学校,国公立大学
他の光熱	[-0. 24]		灯油

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

^{2 「}その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

図3 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表 2 収支の内訳(2013年3月-二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	金 額	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の	備考				
塩 日	(円)	名目	実 質	寄 与 度 (%)	VIII ~~				
実 収 入	444, 379	0.8	1.8	1.8	2か月ぶりの実質増加				
世帯主収入	364, 063	0.9	1.9	1. 56	4か月ぶりの実質増加				
定期収入	350, 090	-0.4	0.6	0.49	11か月ぶりの実質増加				
配偶者の収入	52, 902	4. 4	5. 5	0.63	16か月連続の実質増加				
うち女性	52, 217	4. 4	5. 5	0.62	17か月連続の実質増加				
他の世帯員収入	10, 139	26. 0	27. 3	0.50	6か月連続の実質増加				
非消費支出	81, 108	6. 6	_	_	7か月連続の増加				
可 処 分 所 得	363, 271	-0.4	0.6	_	3か月ぶりの実質増加				
消費支出	350, 957	6. 5	7. 6	_	14か月連続の実質増加				
平均消費性向(%)	96. 6	(前年同月)(次90.3	ポイント差) 6.3		季節調整値でみると、77.3%で、前月に比べ、0.5ポイント の低下となった。				

² 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。